

令和6年3月6日

国土交通省関東地方整備局

荒川下流河川事務所、東京国道事務所

株式会社アイ・ディー・エー

ドローンの実飛行による実証実験を行います

～全国初の「河川上空利用ルール」の作成に向けて（第14弾）～

地震発生時の初動対応としてドローンの実飛行による橋梁の状況、変状確認を行い、道路管理者と河川管理者の初動対応時の連携の在り方について確認する実証実験を行います。

1. 開催日時：令和6年3月8日（金）13時20分から15時20分
2. 開催場所：四ツ木橋、新四ツ木橋付近（離発着場所：墨田区野球場 A 面下流側の自由広場）
3. 飛行概要：別紙1参照
4. 取材対応（取材場所は、現地を予定しております。）

※取材を希望される場合は、別紙2により事前登録をお願いします。

申し込み期限：3月7日（木）12時まで

5. その他

※荒天等で延期や中止する場合は、3月7日（木）13時までに荒川下流河川事務所ホームページにてお知らせします。

荒川下流河川事務所では、「ドローンが荒川上空を飛び交う未来に向けて」、事業者・河川管理者が「ドローンを飛行しやすい環境づくり」にするために、6団体と連携し、ドローンの実飛行による実証実験を実施しています。

今後、各団体での実飛行による実証実験についても別途記者発表を行う予定です。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 都庁記者クラブ 神奈川建設記者会 川口市記者クラブ

<ドローンの実証実験全体に関する問い合わせ先>

関東地方整備局 荒川下流河川事務所

電話：03-3902-2311（代表） メールアドレス：ktr-arage-press@ki.mlit.go.jp

副所長 渡辺 健一（わたなべ けんいち） 管理課長 高橋 正樹（たかはし まさき）

関東地方整備局 東京国道事務所

電話：03-3512-9090（代表） メールアドレス：ktr-toukoku-press@mlit.go.jp

副所長 内山 淳二（うちやま じゅんじ） 建設専門官 吉野 貴光（よしの たかみつ）

<ドローンの実飛行による実証実験に関する問い合わせ先>

株式会社アイ・ディー・エー

電話：049-293-2826 FAX：049-293-2828

コンサルタント事業本部 技術開発室・DX開発センター 宮下 貴位（みやした たかい）

ドローン飛行実証の概要

別紙1

- 荒川下流河川事務所・東京国道事務所とのコラボ企画として、東京国道事務所が管理する四ツ木橋・新四ツ木橋を対象に、地震発生時の初動対応としてドローンを用いて橋梁の状況・変状確認を実施予定。
- 道路管理者・河川管理者の初動対応時の河川上空でのドローン運用による連携の在り方について確認することを目的とする。

①実施日時

令和6年3月8日(金) 13:20~15:20
※天候等により中止する場合がある

②実施体制

全体管理 : 荒川下流河川事務所
実験協力 : 東京国道事務所
ドローン運航 : 株式会社アイ・ディー・エー

③実施内容

□ 地震時の災害初期対応の想定シナリオで橋梁調査を実証実験【Live配信+現地上映】

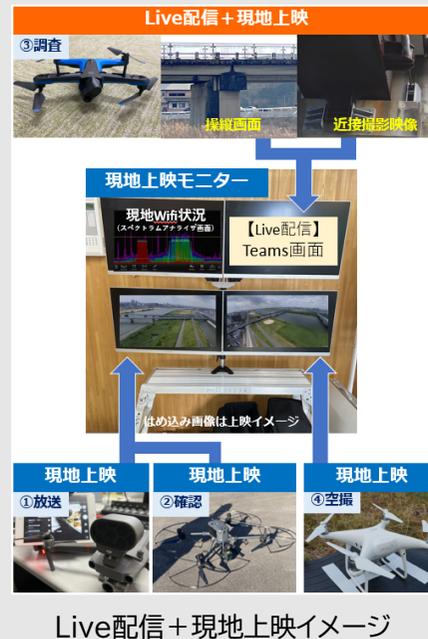
- ① 放送：UAV搭載スピーカーにて実験周知のアナウンス実施。
 - ② 確認：UAV搭載のズームカメラにて、橋梁桁下の支承部等の状況確認
 - ③ 調査：橋梁点検用UAVにて橋梁桁下の支承部調査
 - ④ 撮影：UAV実証実験の状況を俯瞰撮影
- (②、③についてはStep1:四ツ木橋対象、Step2:新四ツ木橋対象の2通りを実施)

<実施内容>

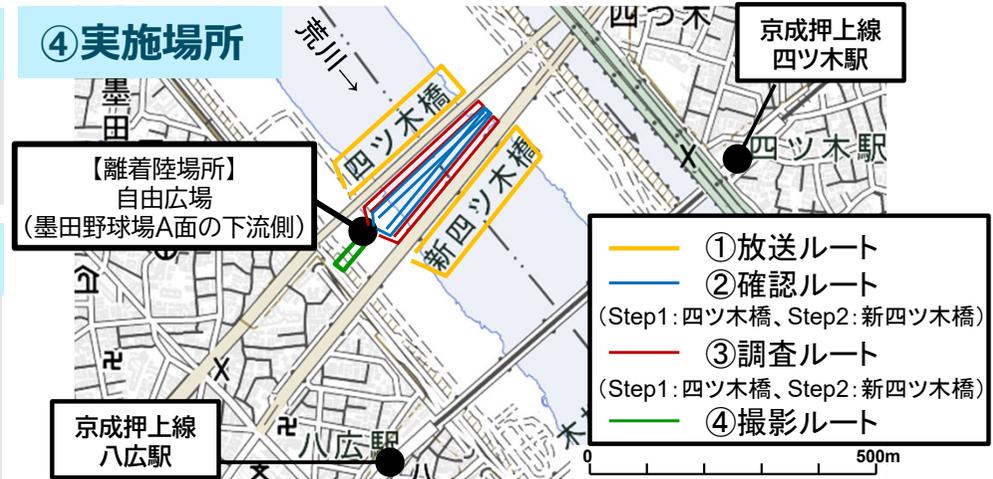
一部の橋梁については、道路管理用 CCTV により路面状況が確認できるが、災害発生時など路面に沈下等の異常が生じた際、橋脚や橋台の状況確認は現地に行き確認するしか無い状況。
そのため、災害発生時を想定し、道路管理用 CCTV で路面の変状が確認された橋梁について、荒川下流河川事務所に協力を要請し、河川巡視用ドローンを用いて、橋梁下部の状況確認を行い映像データの共有することで、迅速な交通規制の実施や対策立案に活かすものである。

<シナリオ>

- ① 地震等の災害が発生
- ② 道路管理用 CCTV を用いて管理施設の状況確認を実施【東京国道】
→ 国道6号四ツ木橋において路面の変状を確認【東京国道】
- ③ 亀有出張所に現地確認を指示【東京国道】
- ④ 荒川下流へ河川巡視ドローンによる四ツ木橋の状況確認を依頼【東京国道】
→ ドローンによる四ツ木橋の状況確認（ズーム撮影）を実施【荒川下流】
- ⑤ 四ツ木橋の変状を確認、支承部近接撮影映像を伝送【荒川下流】
→ 災害対策室にてLIVE映像を確認【東京国道】
※四ツ木橋の通行規制の実施及び新四ツ木橋への迂回誘導を検討 **Step1**
- ⑥ 荒川下流へ新四ツ木橋の状況確認を依頼【東京国道】
→ ドローンによる新四ツ木橋の状況確認（ズーム撮影）を実施【荒川下流】
- ⑦ 新四ツ木橋の支承部近接撮影映像を伝送【荒川下流】
→ 災害対策室にてLIVE映像を確認【東京国道】
※新四ツ木橋の異常が見られないことから、迂回誘導を決定 **Step2**
- ⑧ 亀有出張所へ四ツ木橋の通行規制等を指示【東京国道】
→ 協力会社及び維持業者への通行規制等を指示（亀有出張所）



④実施場所



⑤飛行の概要 (河川巡視・物流)

	①放送	②確認	③調査	④撮影
シナリオ	UAV実証実験の河川利用者に対する音響での周知【自動飛行】	■災害初期対応 橋梁桁下状況確認 (ズームカメラでの支承部等確認)	■災害初期対応 橋梁桁下(支障部)調査	UAV実証実験の状況俯瞰撮影
飛行レベル等	レベル2 (目視内飛行) ・高度100m ・速度 時速14.4/km (4m/s)程度	レベル2 (目視内飛行) ・高度10~50m ・速度 時速10/km (3m/s)程度	レベル2 (目視内飛行) ・高度10~50m ・速度 時速10/km (3m/s)程度	レベル2 (目視内飛行) ・高度50~145m ・速度 時速14.4/km (4m/s)程度
使用機体	DJI Mavic2 Enterprise 	DJI Matrice 300 RTK 	Skydio2+ 	DJI Phantom4 Pro V2.0 

※上記は想定であり、現地UAV運航時に高度・速度等を変更する可能性あり。

ドローンの実飛行による実証実験
(株式会社 アイ・ディー・エー)
取材申込書

取材を希望される報道機関におかれましては、事前に取材申込みをお願いします。

開催日時：令和6年3月8日（金） 13:20～ 15:20

受付場所：四ツ木橋・新四ツ木橋付近 現地（荒川右岸側 高水敷）

報道機関名	
ふりがな 担当者氏名	
当日の連絡先	
取材人数	
車種・台数 (車でお越しの場合)	

※ 御記入頂いた個人情報は今回事業にのみ使用し、第三者には提供致しません。

※ 記者及びカメラマンの方々は、必ず貴社の「腕章」の着用をお願い致します。
また受付時には御名刺を頂戴致します。

※ マスクの着用にご協力をお願い致します。

※ 荒天等で延期や中止する場合は、令和6年3月7日（木）13時までに荒川下流河川事務所ホームページにてお知らせします。

取材を希望される報道機関の方は、令和6年3月7日（木）12時までに以下のとおりメールにて事前登録をお願い致します。

- 件名：[取材希望]ドローンの実飛行による実証実験（株式会社 アイ・ディー・エー）
- 本文：記入済みの取材申込書を添付 または 報道機関名、氏名（ふりがな）、連絡先、取材人数、車種・台数（車でお越しの場合） をご記入下さい。

申込先：[ktr-arage-press \[at\] ki.mlit.go.jp](mailto:ktr-arage-press@ki.mlit.go.jp)

（ [at] は@に置き換えた上で、送付してください）